

株式会社ハッピーねこちゃんわんちゃん設立メンバー

主要メンバー



松岡 茂
代表取締役 CTO

大分大学医学部特任教授、創薬化学の専門家

創薬化学 スタートアップ設立 学際的研究開発リーダーシップ

創薬化学およびスタートアップ設立において豊富な経験を持ち、研究開発とビジネスの両面をリードする。



高野 友美
取締役 CSO

北里大学獣医学部教授、ネココロナウイルス研究の第一人者

FIP専門家 臨床研究 ウイルス学

臨床・基礎研究の両面でFIP研究に貢献。猫コロナウイルス感染メカニズムの解明と治療法開発において国際的に認知された実績を持つ。



小田嶋 康博
取締役 COO兼CFO

グローバル金融・ファイナンス経験を持つ財務戦略専門家

NPV設計 財務戦略 資金調達

スタートアップの資金調達と財務戦略に精通。長期的な企業価値最大化のための事業戦略と財務計画を主導。

連携体制



国立・私立の2大学と産学連携

大分大学と北里大学から大学発スタートアップ支援。
大分・青森の2拠点を地方創成にも貢献。



地方の力を集結

地場を代表する金融・産業の主要機関と、資本・事業両面での協業に向けた調整を進めています。

★ 大学間の共同研究を基盤に、動物を愛するプロフェッショナルが集結。強固なパートナーシップで事業を推進します。

1 / 3

FECV（ネコ腸コロナウイルス）：ネコの「静かなパンデミック」

FECVへの感染を放置すると致死性疾患FIPの原因に

★ FIP（ネコ感染性腹膜炎）の疾患特性

- ネコ腸コロナウイルス（FECV）の変異によって発症する致死性感染症
- ウェットタイプ・ドライタイプが存在し、いずれも予後不良
- 特に若齢猫や多頭飼育環境でリスクが高い

📊 現状と影響

40%+ (70%+)

飼い猫の4割（多頭飼いでは7割以上）がFECVキャリア

100%

FIP発症時の致死率（未治療の場合）。生存期間は約9日。

♥ 社会的影響

単独世帯の増加と高齢化が進む現代、猫は人の孤独と不安を和らげる存在。
私たちは猫の健康を「動物福祉を超えた未来型ウェルビーイング」と位置づけます。



FECV常在環境では猫の9割がキャリアになることも

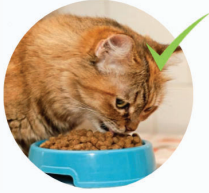
⚠️ 現行治療の課題

- ❌ ワクチン未開発（抗体依存性感染増強が起こる）
- ❌ 治療薬は未承認・高額（数十～百万円）
- ❌ ブラックマーケットや未承認薬の個人輸入も常態化
- ❌ 病態の進行が早く確定診断が難しいため「FIPかも...」の段階で高額治療を決断せざるを得ない

💡 「防げる病気で命を落とさせない」—科学的予防法が存在しない空白を埋めることで動物福祉の向上を目指します。

2 / 3

私たちのソリューション：予防×検査の統合アプローチ



※写真は製品イメージ

簡単な投薬で予防が可能に

★ 当社製品の優位性

- ✓ 投与期間が短く（7日間/半年1回）、継続しやすい
- ✓ 価格が手頃（3万円/年）で経済的負担が少ない
- ✓ 検査キットで効果を確認
- ✓ ウイルス変異にも強い作用メカニズム
- ✓ *In vivo*試験で確認された良好な安全性プロファイル

🔬 FECV駆除薬 OU-500

大分大学で構築した独自の新規抗ウイルス化合物ライブラリから、北里大学でのスクリーニングにより**世界最強クラスの抗猫コロナウイルス活性化化合物を同定**。これをFIP予防を目的としたFECV駆除薬として開発します。

🏠 未承認薬に頼った高額なFIP治療市場の正常化

個人輸入など未承認薬に頼らざるを得なかったFIP治療の現場に対し、我々は透明性あるルートと正規データに基づく安全・有効な治療の標準化を推進します。高額化した治療市場の是正を目指し、**信頼できる選択肢を飼い主と獣医師に届けます**。

📍 地方から世界へ“グローバル型”大学発スタートアップ

私たちは、地方大学の知見（Local Seeds）に、地域の産業技術と資金（Local Tech & Funding）を融合させ、世界市場（Global Market）を目指す『グローバル成長モデル』を推進します。**日、米、欧でそれぞれ約9百万、6千万、9千万頭のアメ猫との幸せな暮らしに貢献します**。

💡 予防と検査を一体化することで、愛猫の健康を科学的に見守る新しい予防ケアの形を実現します。